**ＥＳＤＧｓ通信２０９号「２０２４年の活動と発信」**手島利夫

　ついこの間、新年を迎えて「今年はどんな方たちとどんな出会いがあるのかな」と胸を躍らせていたと思っていたら、もう６月。この半年の活動の足跡と、今後の予定が見えてきました。ホームページ上の「活動と発信」にも今年の予定を書き加え、改訂しました。

　様々な関わりが新たな学びの機会として続いていることに感謝しております。

　<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.esd-tejima.com%2F0-10-9-16.docx&wdOrigin=BROWSELINK>　（７年分の足跡）

この中で、２０２４年の活動と発信（予定も含む）は以下の通りです。

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.esd-tejima.com%2F10-209-1-1.docx&wdOrigin=BROWSELINK>

今年もすでに７０件近くの取り組みが予定されていますが、ご担当者が次々と変わる中にも関わらず、何年も継続して研修の企画を拡大・発展させてくださっている皆様のご期待に添えるように、私自身も学びを進化させていく責任を感じております。

　中学校教科書の検定が済み、採択も進んでいるようですが、今回も教育出版様の教科書について、ＳＤＧｓとＥＳＤに関する校閲を担当させていただきました。改定の度に各社の教科書でもＳＤＧｓに関する意識が高まり、学習指導要領の示す「持続可能な社会の創り手」育成に向けた工夫が進んでいますが、学校の現場では、それを十分には活かしきれていないようにも思います。まだまだ、様々な場で発信していく必要を感じております。

2023年の秋頃に教育出版様からのご依頼をいただき、同社の教師用指導書 小学社会 総説編にも４ページほどの記事「ＳＤＧｓとつなげて考えよう　―社会科から取り組むＳＤＧｓの学びー」を書かせていただいておりました。それがこの度出版されたとのことで手元に届けられました。主な内容は、次の通りです。

◆ＳＤＧｓの実現に欠かせない質の高い教育

　⑴質の高い教育に向けて学習指導要領も動いた

　⑵「授業」から「学び」へ（資料：ＳＤＧｓ時代の教育）

　⑶子どもの学びに火をつける

　⑷ＳＤＧｓとつなげて考える（資料：ＳＤＧｓ実践計画表）

◆第３学年での取り組みのポイント（資料：第３学年　ＥＳＤカレンダー）

◆第４学年での取り組みのポイント（資料：第４学年　ＥＳＤカレンダー）

◆第５学年での取り組みのポイント（資料：日本の米づくりを取り巻くＳＤＧｓの諸問

題）

◆第６学年での取り組みのポイント

　学習指導要領前文で明示された「持続可能な社会の創り手」の育成に向かって、社会科の学習からどのように進めたらよいのか、試案を述べさせていただいておりますが、皆様からのご指導やご助言をいただけたら幸いと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」室長　手島利夫

URL=https://www.esd-tejima.com/

　　 　 　　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

　　　　　 ☏＝ 03-3633-1639　 090-9399-0891

　　 Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

【参考】

ＥＳＤＧｓ通信：手島利夫が名刺交換させていただいた方等に配信している不定期なメル

マガで、約1９００名様に配信中です。

[contact@esdtejima.com](mailto:contact@esdtejima.com)　にメールでご連絡いただければ、登録・及び削除をいたします。よろしくお願いいたします。